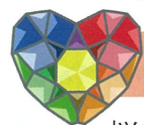




大人にできることは

- 「男の子だから、女の子だから」と、性別によって決めつけるのではなく、子どもの気持ちを大切に、自分らしさを伸ばせるようにしましょう。
- 多様な性について正しく理解し、家庭で話題にのぼったときには、肯定的な捉え方を示しましょう。
- 日頃から、子どもにとって相談しやすい関係をつくりましょう。



子どもから相談を受けたら

悩みを相談する子どもは「否定されたらどうしよう」と不安を抱えながら信頼できる大人に打ち明けます。まずは「話してくれてありがとう」と共感的に受け止めましょう。否定したり、決めつけたりすることなく、本人の不安や戸惑い、困り感に寄り添いながら、**どのような支援ができるか子どもと一緒に考えましょう。**

気になることや学校園での配慮の必要性がありましたら、学校園の教職員やスクールカウンセラー、医療機関などに相談してください。他にも次のような **相談窓口** がありますので、ご活用ください。

困ったときは

倉敷市ヤングテレフォン
(倉敷市青少年育成センター)
086-426-3741



岡山県青少年総合相談センター(ハートフルおかやま110)
086-224-7110

よりそいホットライン
0120-279-338



知っておきたい
「カミングアウト」と
「アウティング」

カミングアウト

本人が自分の意思で性のあり方を他の人に公表することです。

アウティング

本人の同意なく性のあり方を他人に暴露することで、絶対にしてはいけないことです。

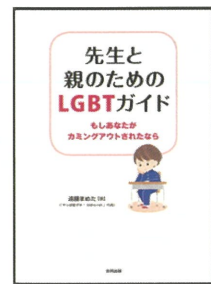
※その他、県内には、性的少数者当事者団体もあります。詳しくは人権教育推進室までお問合せください。



参考資料



『はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで』(石田仁著, 2019年, ナツメ社)



『先生と親のためのLGBTガイド もしあなたがカミングアウトされたなら』(遠藤まめた著, 2016年, 合同出版)



『封じ込められた子ども、その心を知る 性同一性障害の生徒向き会』(中塚純也著, 2017年, ふくろう出版)



『いろいろな性、いろいろな生きかた』全3巻(渡辺大輔監修, 2016年, ポプラ社)



人権啓発マンガ冊子「りんごの色～LGBTを知っていますか?～」(大分県, 2017年)

▼動画



発行 倉敷市教育委員会(令和3年3月発行)
問合せ先 倉敷市教育委員会人権教育推進室 TEL 086-426-3803
表紙デザイン 倉敷芸術科学大学芸術学部メディア映像学科 清水友梨香

保護者に
知ってほしい

多様な性



皆さんは子どもの頃、性のことや男らしさ・女らしさなどのことで、いろいろと悩むことはありませんでしたか。今も同じように悩んでいる子どもがいます。それは、いつの時代も変わらないことかもしれませんが、近年はそれに加えて、性別違和感や性的指向に関する悩みや困りごとが表面化しています。ひよっとしたら皆さんの周りにも性別に関する悩みや、いわゆる「女/男らしさ」などの決めつけに、モヤモヤした気持ちや不安を抱えている子どもがいるかもしれません。そのような子どもに私たち大人は何ができるのでしょうか。

このリーフレットには、保護者世代の方に多様な性について理解していただくことができるよう、子どもの現状や性のかたち、大人ができること、相談先などを掲載していますので参考にしてください。

倉敷市教育委員会



子どもたちのいろいろな思い

就学前(幼稚園・保育所など)

女の子だけ、おひめさま役はいや。王子さまの役をやったら楽しかった。

ぼくは、かわいいぬいぐるみが大好き!

友だちに「女の子なのに〇〇レンジャーが好きなんて、へんだよ」って言われちゃった。わたしはへんなのかな?

「ランドセルは好きな色でいいよ」って言うてくれたから、大好きな色にしたよ。

小学校

「男の子なんだから泣くな」っていつも言われてつらいな...

「野球をしたい」って言ったら、男子が「一緒にやろう」と誘ってくれてすごく楽しい!

女の子といると胸がドキドキして変だなと思っていたけど、先生が「同性を好きになる人もいるよ」と話してくれてほっとした。

中学校・高校

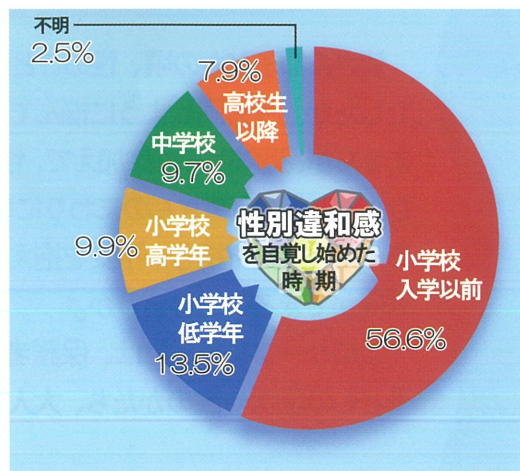
スカートをはくのが苦痛だったけど、ズボンも選べるようになって、学校が楽しかった!

同性が好きだということが、誰にもばれないように異性が好きなふりをしていた。同性愛の人をからかう話題になったときに、一緒に笑ったけど、心では泣いていた。

自分が思う性別と身体の性別が違うことを思い切って保健室の先生に打ち明けた。

「あなたはそのままでもいいんだよ」と言ってくれて安心した。

「〇〇らしさ」に縛られることなく、自分らしさを出せる子どもがいる一方で、異性愛が当たり前とされる周囲の言動や性別違和感などで悩み、傷ついている子どももいます。性別違和感については、多くの大人が思っている以上に、早い時期から自覚していることが報告されています。学校や幼稚園等において、制服やトイレなど男女に分けられる場面ですら思いをしていることが多いようです。

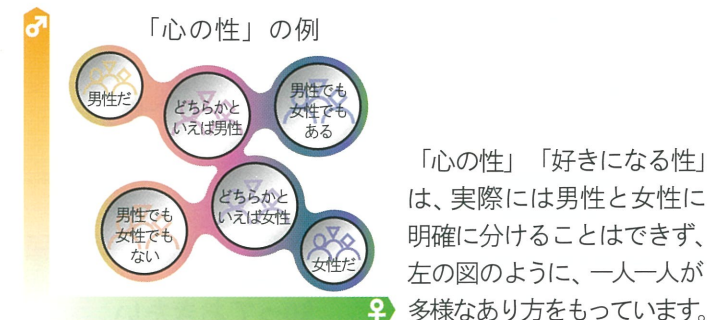


岡山大学ジェンダークリニックを受診した性同一性障害当事者1,167名対象の調査(中塚幹也「封じ込められた子ども、その心を聴く」)より作成



性のかたちはいろいろ

性のかたちは「身体の性」だけでなく、「心の性(性自認)」、「好きになる性(性的指向)」などいろいろあります。その組合せも右の図のように多様で、**みんなどこかに位置付いている**と言えます。



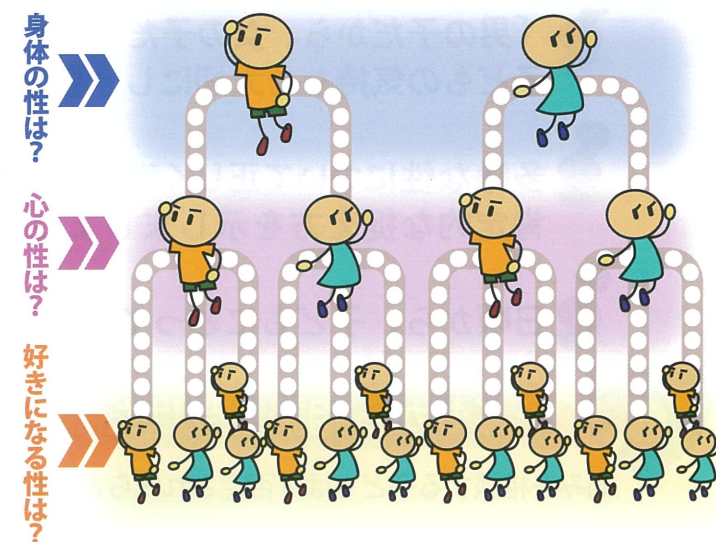
いろいろな「好き」のかたち

異性を好きになる子もいれば、同性を好きになる子もいます。男の子・女の子どちらも好きになる子や、「好き」という気持ちをもたない子もいます。「好き」にはいろいろなかたちがあります。

- レズビアン Lesbian**
女の子を好きになる女の子
- ゲイ Gay**
男の子を好きになる男の子
- バイセクシュアル Bisexual**
女の子も男の子も好きになる子

「SOGI」という考え方

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をまとめて「SOGI」(ソジ・ソキ)と表現されます。誰もが「SOGI」という多様な性のグラデーションの中を生きています。

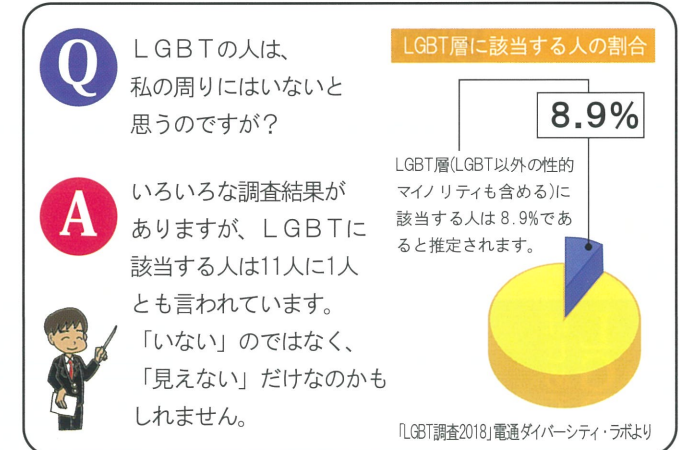


いろいろな「心」のかたち

自分のことを女の子だと思う子もいれば、男の子だと思う子もいます。このように自分の性をどのように感じているかを「心の性」と言います。「心の性」と「身体の性」が同じ子もいれば、違う子もいます。女の子か男の子かわからない・決められないという子もいます。

トランスジェンダー Transgender

「心の性」と「身体の性」が同じでないため、「身体の性」に違和感をもつ人



レインボーフラッグは何の意味?

レインボーフラッグは、6色(赤・橙・黄・緑・青・紫)からなり、性の多様性を表しています。LGBTの社会運動と尊厳を象徴するものです。LGBTの理解者・支援者のことを**ALLY**(アライ)と言います。レインボーのバッジなどを付けることで、LGBTへの理解を示すことにもつながります。

あなたらしく 自分らしく